

日本性科学会 ニュース

第31巻 第3号

平成24年（2012年）9月

発行人：大川 玲子 印刷所：(株) 絢文社

2013年度 研修会ならびに学術集会予告

第7回 日本性科学会近畿地区研修会

日 時：2013年2月17日（日）13：00～16：30（予定）

会 場：大阪市立大学医学部医学科学舎6階（予定） 大阪府大阪市阿倍野区旭町 1-4-3

日本性科学会単位 5単位

名前が変わります——セックス・カウンセリング研修会——

これまで長い間「性治療研修会」という名前で行ってきた研修会を次回から、「セックス・カウンセリング研修会」という名に改めます。

この研修会の第1回目は、当学会がまだ、学会組織になる前の、「日本セックス・カウンセラー・セラピスト協会」であった1981年に、医師を対象に「臨床性医学セミナー」という名前で行われました。

その後、回を重ねるにつれ、時代と社会の要請にこたえるべく、対象を広げ、名前を変更して、性治療に取り組む方たちの研鑽の場として内容を充実させてきました。

今回、性治療に携わる方ばかりでなく、セクシュアリティにかかわる仕事をなさる方にとっても貴重な研修の場であるとの声を受け、名前を改めることになりました。経験の多寡を問わず、多くの方のご参加をお待ちしています。資格との関係はこれまでどおりです。

又、希望のテーマがありましたら、学会まで、御知らせください。

次回は以下の予定です。

日 時：2013年5月26日（日）9：30～16：30

場 所：東京慈恵医科大学西新橋校1号館5階講堂

プログラム：12月以降決まっていきます。決まり次第、ニューズレター、HP等で御知らせいたします。

申し込み方法：学会へ予約するほか当日参加もできます。

参 加 費：会員 10,000円、学生 3,000円、一般の方 12,000円

第33回 日本性科学学会学術集会「性科学から性哲学へ—性科学の守備範囲再考—」

日 時：2013年9月15日（日）9：00～16：30

場 所：ワークピア横浜（おしどり・くじゃく）〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町24-1（山下公園前、県民ホール隣）

TEL：045-664-5252 FAX：045-664-6743 <http://www.workpia.or.jp>

学 会 長：早乙女 智子（神奈川県医師会神奈川県立汐見台病院産科副科長）

会長講演：「対比と相同、グラデーションとしての性」

第15回 性科学セミナー：日本性科学連合

日 時：2013年9月14日（土）

場 所：ワークピア横浜（かもめ・やまゆり）

日本性科学学会学術集会・性科学セミナー合同懇親会（ワークピア横浜 いちょう）

フルート演奏とトーク 日本の子守歌に見る性 吉川 久子

Vol. 31

№.
3

日本性科学会

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-3 森島ビル4F

TEL・FAX 03-3868-3853

55歳の2回経産婦が再婚後、 子宮上皮内がん手術を乗り越えて

主婦会館クリニック 堀 口 貞 夫

生殖技術の助けを借りて出産した一例

生殖医療技術の進歩の速度は速く、人間の右脳の対応が追いつかない。倫理的にどこまでが許されるかのコンセンサスを得ることは難しいのが現状である。幾つかのハードルを越えて子どもをもつ希望を達成した女性について報告する。

1997年に41歳で再婚したPさんは、5年後(46歳、2回経産)に妊娠・出産の可能性についての相談のために来院した。日本女性の閉経の平均は51歳であり、下垂体卵巣系子宮系の妊孕性の低下、胎児の染色体異常の発生率の上昇、流産・早産率の上昇、妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病の合併の可能性の増加、分娩時出血量の増加や帝王切開率上昇などについて話し合った。2003年(48歳)に行った細胞診はクラス2～3aで3ヶ月毎に検診を行った。

2004年(49歳)には3a～3bで拡大腔鏡診で白斑を認め、組織診では「中等度異形成～高度異形成」となった。

2005年(50歳)細胞診がクラス4で、拡大腔鏡診ではモザイク・白斑・点状出血を認め組織診でも「高度異形成で上皮内がんを否定できず」となったために円錐切除を行うこととした。

2005年8月4.2×2.0×0.7cmの円錐切除を実施。術後診断は高度異形成で範囲は2mmであった。

2006年1月(50歳)まで細胞診クラス1で無月経だったが、その後基礎体温表二相性となり、6月に実施した夫の精液検査は異常なしであった。

2009年9月(54歳)までの44ヶ月間に3周期が無排卵であった。この間細胞診の結果はクラス1～2であり、アメリカで体外受精について相談、夫とも相談を重ねた。卵胞ホルモン値は正常範囲内(30～679pg/ml)であるが、性腺刺激ホルモンは高値になる傾向があり(LH:10.7～33.1mIU/ml, FSH:18.6～68.5mIU/ml)、2011年1月ドナー卵子による体外受精を受けることを決意した。

2010年3月(54歳)アメリカで第1回胚移植を実施したが流産に終わった。その後2ヶ月出血が続くため再度子宮内容清掃術を行ったが、この時麻酔導入後血圧が200mmHgまで上昇するというエピソードがあった。その後、低用量ピル・ベビーアスピリンを使用するなどの後10月に第2回の胚移植を行う予定であったが、子宮内膜が移植可能な状態にならず中止した。

2011年3月(55歳)第2回胚移植の3週間後に胎児心拍動を確認し、以後順調に経過した。9月妊娠28週で子宮頸管の短縮(24mm)を認めたため1回15分程度の散歩と水泳のみの運動制限となった。2週間後に子宮頸管長に変化が無いために「ゴルフと水泳は注意しつつ継続可」となる。

2011年11月(56歳)妊娠38週に陣痛誘発の予定で入院した所血圧上昇(144/80)と全身の浮腫を認められた。子宮収縮剤の点滴静注による陣痛誘発を行い有効陣痛で5時間経ったが子宮口が3cm以上開大せず、また羊水が血性となったために帝王切開分娩に変更となった。妊娠38週での分娩で3200グラムの男児であった。術後4日目に母子ともに元気に退院した。

考察：

41歳での再婚であり、妊娠は望みたいが妊娠の可能性やリスクに悩み迷って、46歳になって相談された。48歳に行った子宮腔部細胞診で軽度～中等度異形成が発見され2年後に「高度異形成で上皮内がんも否定できず」となったために円錐切除を行った。術後2ヶ月経って基礎体温は二相性となり月経は再開したため、妊娠の可能性について改めて検討するが、加齢による変化が進行する。体外受精も卵子提供による可能性という選択肢の多さが、Pさん自身の妊娠・出産だけでは終わらない、子育てまで含めた不安・心配の迷いを深くし、決断を鈍らせた。

悩み迷っている間に決断さへすれば40歳代前半の出産も可能であったと、後からは言えるであろう。「そうすれば、円錐切除による頸管短縮も、妊娠高血圧症候群の合併も無かった」と。

46歳で妊娠・出産の可能性について相談を受けた時に『①医学的には奨められない、②医学的には、出来るだけ早く決断して行動を起こすべきである、③情報を集めて、夫と十分に相談して産むと決断したら医学の立場で出来る限りの援助をする』の三つの選択肢を明瞭な形で提示すべきであったのと思う。

第12回アジア・オセアニア性科学学会報告

はりまメンタルクリニック 針 間 克 己

2012年8月2日から5日、島根県松江市のくにびきメッセにて、第12回アジア・オセアニア性科学学会が開催された。私の個人的見聞を中心に報告する。

8月2日。会場到着。さっそく、オーストラリアのRedelman先生のワークショップに参加。医療現場において、セクシュアリティを取り扱うことの重要性とその具体的方法を述べ、勉強になる。活発な議論も続く。続いて、全国性教育研究団体連絡協議会とのコラボ企画、おなじみ、ハワイ大のDiamond先生の講演に。あいかわらずお元気に、セクシュアルマイノリティについての講演。最後はいつもどおりに「自然は多様性を好む」。次いで歓迎レセプション。全性連の方も加わり、盛況。その後時間があつたので、宍道湖にしずむ夕日を見に。評判どおりの美しさだった。ついでに満月に照らされた、松江城と城下町も堪能。



8月3日。いよいよ開会式。ドジョウすくいの演目に、某国の総理のことなど連想しつつ。英語でドジョウはなんというのかな、とか。挨拶では、出雲ならではの神話の話も。もう少しポジティブに日本のセクシュアリティを語ってもよいかとも思ったが。その後、大川玲子学会長の特別講演。故松本清一先生の業績にも触れられた。ランチョンセミナーは「障害者の性」に出席。スポンサーがTENGAで、巷で評判のTENGA商品をいただき興味深し。セミナーも脳性まひの人が自分の自慰シーンを動画で流し、考えさせられた。「世界ではマスターベーション教育をちゃんとしているのか」と言う議論も盛り上がる。(答えはすべて「No」)。

午後は、出雲大社へのバスツアーに参加。バスは満席。地元出身の今井伸先生のユーモラスなガイドや、波多野義郎先生の流暢な英語での解説でバスは和やかな雰囲気。あいにく出雲大社は改装中だったが、荘厳な屋根は姿を見せ、神話の歴史を味わうツアーにみな満足の様子。なお、この間、学会場では「若者円卓会議」というものが開かれ、その名の通り、若手の性科学者たちによる、活発な議論がなされていたとのこと。

バスはそのまま、懇親会場へ。お花がきれいな中、神楽のヤマタノオロチを堪能。なぜか頭は4頭のおろちであったが、シンクロナイズドスイミングもびっくりの息のあったパフォーマンスだった。

8月4日。香港のWinter先生によるICD11案の講演は、性同一性障害、パラフィリアともに大変知りたかったことだったので、大いに参考になった。その後、個別にもWinter先生は丁寧に詳細をご教示くださる。感謝。シンポ、「**Sexual pleasure in women**」は非常に面白かった。関口由紀、宋美玄、北原みのり、とマスコミでも大活躍の女性シンポジストたちは、個性も強く、それぞれインパクトのある発表で、女性目線の性の大切さを述べた。ランチョンは南雲吉則先生。ベストセラーのタイトルどおり、30歳代に見えるルックスで講演を行う。午後はまずはコラボの日本性科学会に。自分の講演をしたあと、抜け出して、GIDの手術のシンポに。タイのPreecha、セルビアのMiroslav、山口悟先生が、手術の専門的な議論をしていた。

最終日。「transgender health」の座長をつとめる。Winter、フランスのAlain Giami、オーストラリアのElizabeth Anne Riley、岡山大の中塚幹也先生がシンポジストをつとめ、会場を含めて、性別違和を持つ子供への対応や、病気として扱うか否かなど、議論も盛り上がり、一安心。

その後閉会式。多目的ホールに展示されていた「性の健康デー2012 ポスター公募展」の受賞者やポスター発表の表彰者が発表される。閉会式は東優子先生の名司会のもと、和やかなうちに無事終了。

参加国は16カ国、参加人数276名だったとのこと。

次回第13回アジア・オセアニア性科学学会は、2014年秋、オーストラリアのブリスベンで開催予定。

第32回日本性科学学会学術集会に参加して

聖隷浜松病院 今 井 伸

慣れない英語につかれてきた第12回アジア・オセアニア性科学学会 (AOCS) 3日目の8月4日(土)の午後、日本語の癒しを求めて第32回日本性科学学会学術集会に出席した。

この学会の特別講演「神話に見る日本人の性」は、神話のふるさと出雲の国(松江)で開催される本学会ならではの企画であり、講師の北垣秀俊先生は、私の中学校の同級生である。今年の1月に同窓会で22年ぶりに再会した彼に、この講演を依頼したのはかなり危険な賭けであったが、会場は大入りで、彼は昔と変わらぬ独特の語り口調で、私たち聴衆を引き込む楽しい講演をしてくれた。

教育講演では、針間先生がセクシュアルマイノリティとはどういったものかということ、を、わかりやすく体系的に解説された。セクシュアルマイノリティの歴史も興味深く、お話に引き込まれているうちにあっという間に終わってしまった感じだった。

シンポジウムでは、「セックスレス」の症例を多数ご経験の4人の先生が講演された。金子先生が日本性科学学会カウンセリング室の来所者の統計より、ここ数年で女性の性嫌悪が増加していることを報告され、女性が性に対してオープンになってきていること、「結婚」＝「性(セックス)」ではなくなっていることが原因ではないかと考察されていた。このことを西郷先生はより明確に指摘され、「婚活ブーム」による結婚へのプレッシャーにより「性的に魅力を感じない男性」と結婚する女性を増加しており、このことが「セックスレス」や「婚外恋愛」の増加の原因であると述べられた。永尾先生は、泌尿器科医として「女性性機能障害」や「性嫌悪症」の診療に積極的に取り組まれていることを報告され、大いに参考になった。阿部先生は、「性嫌悪症」を体系的に解説され、シンポジウムでは会場から鋭い質問が飛びだし、活発な議論が交わされた。

例年と比べてちろんまりとした学会であったが、内容がギュッと詰まっていたように思う。学会終了後、打ち上げと称して、北垣先生と地元山陰の旨い魚で美酒に酔ったことは言うまでもない。

新しい腔ダイレーターのご紹介

金 子 和 子

日本性科学学会が製造販売していた「腔ダイレーター」がリニューアルされ、販売方法が変わったのでご紹介いたします。

腔ダイレーターは女性の挿入障害〔ワギニズムス〕の治療のために、1980年代初頭に野末源一先生を中心に開発され、改良が重ねられて来たものです。小は市販のタンポンのLサイズである直径16ミリから、段階的に大きくなり直径27ミリまでの4本を1セットとしていました。

最近では、骨盤領域の放射線治療の後の腔癒着・萎縮を防ぐためや腔形成術の後などにも使われるようになってきています。この分野での使用は、先進国では珍しくないそうですが、日本では、まだ認知度が低いようです。しかし、今後の広がりが予想されます。

これまでの販売方法は、日本性科学学会が直接管理し、治療者(会員)を通じて患者さんに販売、または外部の医療者に日本性科学学会が注文販売をしていました。

今回ジェクス株式会社に製造販売を移管するにあたり素材、大きさなどを再検討しました。値段も安くなり、一本売りもでき、これまでより一回り大きなサイズも加わりました。素材は、ポリエチレンです。数種類の素材で作って、患者さんたちにアンケートを取ったところ、清潔感、すべすべ感に優れ、値段としても好ましかったからです。詳細は同封のチラシと注文書をご覧ください。

販売はジェクス株式会社が担当していただきますが、薬事法の問題と、医療者による指導、サポートが必要なため、ネットでの、広報・販売はせず、医療者あるいは、患者さんからの注文書によるFAX受注となります。問い合わせは原則として、日本性科学学会が対応します。注文書は、学会へ請求なさるか、同封のものをコピーしてご使用ください。